

製品名: CD43 マウスモノクローナル抗体**カタログ番号: AMM82188**

研究使用のみ

概要

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	ELISA,FC
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG1
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05%アジ化ナトリウムを含む PBS 中の精製抗体
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	ELISA 1:5000-1:20000,FC 1:200-1:400
分子量	40.3kDa

抗原情報

遺伝子名	CD43
別名	SPN; LSN; GALGP; GPL115
遺伝子 ID	6693.0
SwissProt ID	P16150
免疫原	大腸菌で発現したヒト CD43 (AA: 追加 20-253) の精製された組み換え断片。

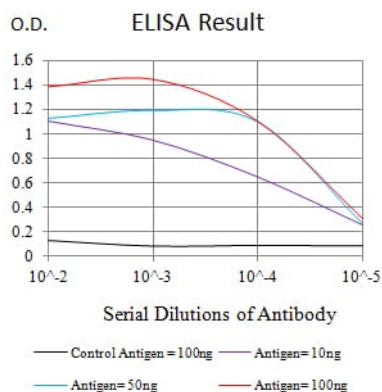
背景

この遺伝子は、T細胞の抗原特異的活性化に機能する高度にシアリル化された糖タンパク質をコードし、胸腺細胞、Tリンパ球、単球、顆粒球、および一部のBリンパ球の表面に存在します。ムチン様細胞外ドメイン、膜貫通領域、およびカルボキシ末端細胞内領域

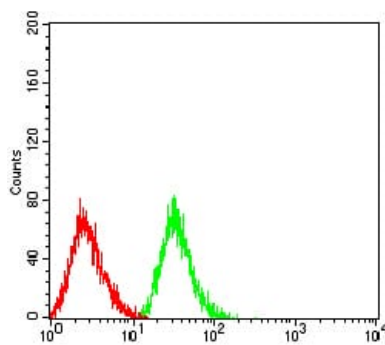
域を含みます。細胞外ドメインはセリンおよびスレオニン残基の割合が高く、広範な O-グリコシル化を可能とし、1つの潜在的な N-グリコシル化部位を有します。一方、カルボキシ末端領域は、活性化シグナルの伝達を媒介する可能性のあるリン酸化部位を有します。このタンパク質には様々な糖鎖型が報告されています。刺激を受けた免疫細胞では、一部の細胞種において細胞外ドメインのタンパク質分解切断が起こり、可溶性の細胞外断片が放出されます。この遺伝子の発現異常は、ウイスコット・アルドリッチ症候群と関連しています。

研究分野

画像データ



黒線: コントロール抗原 (100 ng) ; 紫線: 抗原 (10 ng) ; 青線: 抗原 (50 ng) ; 赤線: 抗原 (100 ng)



CD43 マウス mAb (緑) とネガティブ コントロール (赤) を使用した HL-60 細胞のフローサイトメトリー分析。